

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	日頃から、急変や事故発生時の備えをしておく必要がある。	体調の変化の早期発見・事故発生防止。	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザやノロウイルスが流行する前から対策を考え実行する。 ・転倒の危険性が高い方の介助や付き添いの方法を検討する。 ・学習会を通じて、急変時の対応方法を実践形式で学びスキルを高める。 	6ヶ月
2	37	一人一人の思いや要望を改めて把握し理解する。	信頼関係を築く。	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時など一対一になった際、会話を多くし、入居者の思いを知り、日々のケアに活かす。 ・一日の過ごし方を聞き取り、その方のペースに合わせた支援を行う。 	6ヶ月
3	21	利用者同士の関わりを持ってない人もいる。	孤立せず支え合える仲間作りの支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・住食を共にする仲間として思ってもらえるように、全員での外出やイベントを行い、馴染みの関係を築けるよう支援をする。 ・気の合う入居者と同じテーブルで過ごしてもらう。 ・難聴の方には、職員が会話の橋渡しを行う。 	6ヶ月
4	40	食べる量、栄養バランス、水分量など一人一人の状態に合わせた対応をする必要がある。	一人一人の入居者に合わせた対応。	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病等の食事制限が必要な方の食事量の調整を行う。 ・嚥下障害のある方は、お粥・刻み・トミで対応し、常に観察し状態を見極める。 ・水分摂取の声掛け・水分を摂りたがらない方には医師と相談し好みの飲み物等で対応を検討する。 	6ヶ月
5	34	どのような災害が起きても、落ち着いて行動する必要がある。	どのような状態でも、安全かつ迅速に行動に移せる。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害による停電・断水を想定し、防災用具を定期的に点検する。 ・避難訓練を通じて、避難経路の把握に努める。 ・緊急時のシミュレーションを検討する。 ・施設周辺の状況を把握するよう努める。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	本人の思いを尊重した活動や生活を送って頂きたい。	入居者の要望や希望されたことを聞き取り、一人一人に合った生活を過ごして頂く。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の話を良く傾聴し、要望を引き出す。 ・入居者に合った生活リズムや生活歴を把握する。 ・行事ごとや作品作り、レクリエーションを通じてコミュニケーションを深める。 	6ヶ月
2	33	学習会や講習に参加し学んでいるが、実際の緊急時の対応に不安がある。	入居者の急変や事故発生時の状況判断・応急手当など、その場面に応じた対応が行える。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会や研修に参加し、スキルを高める。 ・入居者の状態を把握し、小さな症状の変化に気付き、しっかり報告できるようにする。 ・急変時は一人で対応するのではなく、周囲に応援を求め協力し合う。 	6ヶ月
3	19	職員がご家族と協力し合い、入居者を支える関係を作りたい。	ご家族と職員が協力し合う関係を作り、入居者がより良い生活を送れるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン変更時や受診結果のみではなく、入居者の状態を見て、変化があった際はその都度連絡や報告を行う。 ・ご家族が面会に来られた際は、最近の状況を必ず報告する。 	6ヶ月
4	13	職員の指導力を向上させたい。	職員を育て、入居者が安心できるサービスを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導についての学習会や研修に参加する。 ・職員同士が話しやすい環境作りを行う。 ・指導者同士がお互いわからない点や疑問点などの話し合いを設け、不安を解消する。 	6ヶ月
5	21	利用者同士の批判が聞かれる。	批判することなく入居者同士が協力し合う関係を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者同士で批判が聞かれる際は、職員が間に入り、話を良く聞く。 ・批判する原因を探り、問題の改善に努める。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	<本人と共に過ごし支え合う関係> 入居者の状態によってケアを多く必要とする方もいる。	一人一人の入居者が出来ることを把握し、自立した生活場面を多くつくる。	・一人一人の入居者が出来ることを職員間で情報共有し、継続して自立した生活が過ごせるよう支援する。	6ヶ月
2	26	<チームでつくる介護計画とモニタリング> 介護計画作成時、本人の思いや家族の希望を取り入れていく。	ご本人の思いや、ご家族の希望を大切に介護計画に活かしていく。	・生活の中で本人の思いを汲み取り、家族の希望も確認しながら介護計画を立てる。	6ヶ月
3	33	<急変や事故発生時の備え> 学習会で学んでいるが、不安がある。	急変や事故発生時、スムーズに対応出来るようにする。	・学習会で学んだことを復習しつつ、日々の業務の中で職員同士が協力しケアを行う。	6ヶ月
4	34	<災害対策> 地震や水害時などの災害時に落ち着いて行動する必要がある。	あらゆる災害に対して、安全かつ迅速に対応出来るようにする。	・定期的な避難訓練を行うと共に、図上訓練も行い災害時の対応についてシミュレーションする。	6ヶ月
5	36	<入居者の希望の表出や自己決定の支援> 入居者によっては自己決定が出来ない方もいる。	ご本人の希望を大切に、自己決定する場面を多く作り支援する。	・日々の会話や生活の中から、入居者の気持ちを理解し、自己決定できるよう支援する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	買い物以外の、日常的な外出支援が少ない。	買い物以外にも、ドライブや散歩をする機会を作り、入居者の気分転換・ストレス軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・午後の余暇活動に散歩を取り入れる。 ・ご家族からも協力して頂き、馴染みの場所へ外出しを支援する。 	6ヶ月
2	25	一人一人の心身状態の把握に努めているが、認知症のレベルの低下が著しく、ケアをするのに困難なことがある。	入居者一人一人の状態を把握し、職員間の報告・連絡・相談を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の言動をよく観察し、普段と違う変化が見られたら、介護記録へ詳しく記入する。 ・職員間での報告・連絡・相談を徹底し、情報を共有する。 	6ヶ月
3	37	業務を優先にしてしまうことがあるため、入居者の希望に沿った満足の支援を行っていききたい。	余裕をもって業務に取り組み、入居者のペースに合わせた支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ時・入浴時に、入居者の話を傾聴することを常に心掛ける。 ・会話の中から入居者の希望を把握しケアを実践する。 ・業務の優先順位を考え、職員同士協力していく。 	6ヶ月
4	33	急変や事故発生時の対応に不安がある。	急変や事故が起こった際に、安全かつ迅速に確実な対応が出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・実践形式の学習会を通じて、知識と技術を学ぶ。 ・不安なことは、看護師に指導してもらう。 ・事故を未然に防げるように、ヒヤリハットを活用する。 	6ヶ月
5	19	ご家族との交流を深めたい。	ご家族への報告・連絡・相談を徹底して行う。ご家族との信頼関係を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活状況・受診結果(内服薬の変更)等の報告をご家族へ密に行う。 ・ご家族が抱える不安を日頃の会話から把握できるよう努める。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	定期的な買い物の外出だけでなく、近場も含めた外出を増やしたい。	入居者の要望を確認し、前もって外出する計画立て、安全に外出を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の外出行きたい場所などの要望を聞く。 ・外出先でトラブルが起きた際の対処法を身につける。 ・入居者の方に楽しんで頂けるよう企画力を高める。 	6ヶ月
2	27	介護記録や支援経過の記録の抜けがないよう取り組みたい。	気付いたこと・実践したこと・結果等の内容の記録が抜けることなく、わかりやすく記録する。	<ul style="list-style-type: none"> ・出来事があった際は、すぐにメモをとり記録する習慣を身につける。 ・誰が見ても、理解できる文章でわかりやすく記録できる能力をつける。 ・毎日、記録物の見直しを行い、必ずチェックする。 	6ヶ月
3	35	普段からの言葉使いや、入居者への声掛けが命令口調にならないよう努めたい。	相手を尊重した言葉使いが出来る。 入居者のペースに合わせた対応をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・焦らずに落ち着いて対応出来るよう、入居者の生活リズムやペースを把握する。 ・学習会や研修を通して、尊厳やプライバシーについての知識を深める。 	6ヶ月
4	19	ご家族の意見や思いを、しっかり受け止められるようにしたい。	入居者をご家族と共に支援していけるような協力体制をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族と職員が話しやすい環境や雰囲気作りに努める。 ・ご家族へ積極的に声掛けを行い、入居者の状態や近況の出来事を伝える。 ・ご家族の話をしっかり傾聴する。 	6ヶ月
5	34	災害時、冷静な対応が出来るようにスキルを高めたい。	災害時、安全かつ迅速に対応出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災用具の点検を定期的に行い、日頃から防災意識を高める。 ・避難訓練を行い、状況に合わせた避難経路の把握に努める。 ・協力体制を再確認し、職員がわかるよう環境を整える。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	入居者の状態によっては、できる事に対しての差があるため、役割に偏りが生じる場合がある。	役割を持つことにより、やりがいや達成感を感じてもらう。 日々の生活で楽しみ事を提供する。	・入居者の状態や得意分野に合わせた役割を提供する。 ・季節感の感じられる行事や外出などを企画し、楽しみの提供・気分転換を図る。	6ヶ月
2	48	外出する機会を増やし、入居者同士の交流を深めたい。	買い物だけでなく、近場を散歩したりするなどの支援を行い、気分転換・ストレス解消を図る。	・片寄りなく入居者が外出し、気分転換が出来るよう支援していく。 ・ご家族の協力も得て、外出の機会が作れるよう支援する。	6ヶ月
3	33	急変時や事故発生時に、落ち着いた冷静な判断や行動が出来るか不安なことがある。	急変や事故発生時に、焦らず落ち着いた対応が出来るようにする。	・急変時の連絡体制や対処方法、医療器具の場所のなどがすぐにわかるようマニュアルを再確認する。 各自、学習会に参加し、急変・事故等の対応について把握し身につける。	6ヶ月
4	32	ターミナルケアの入居者がいるが、状態の変化や今後についての不安がある。	医師や家族との報告・連絡・相談を密に行い、入居者の状態に合わせた対応・ケアを行っていく。	定期の受診だけでなく、状態の変化があった際は、すぐに受診し、報告・連絡・相談を行い、家族へも情報・意見交換を行いながら、対応について検討していく。	6ヶ月
5	37	業務優先になってしまうことがあり、希望に沿った支援が出来ていない時がある。	気持ちに余裕をもって業務にあたり、入居者に合わせたケア・ペースを大切にして取り組んでいく。	業務優先ではなく、入居者の気持ちに寄り添い、話を聞くようにする。また、職員間で情報を共有し、その人らしく過ごせるよう支援する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。